【教育方法学講座　2006年度提出の修士論文・卒業論文題目一覧】

修士論文

項　　純　：素質教育をめざす中国の教育評価改革の動向と課題
小　林　信　一：配偶者との死別経験を有する男性の将来展望の変化と適応
竹　内　理　恵：田村一二の障害児教育実践
——「流露」という発想に着目して——
竹　家　一　美：子どものいない中年期女性のライフストーリー
——転機の語りと生成継承性の様相に着目して——
徳　永　俊　太：戦後イタリアにおける歴史教育の理論的特質
——歴史教育と歴史学の関係に着目して——
平　川　祥　子：人を動機づけるナラティヴ
——身体美容広告の語りの分析——
本　所　　恵　：スウェーデンの高校におけるプログラム制導入の意義と課題
万　野　友　紀：竹沢清の実践記録論に関する一考察
森　脇　逸　朗：楽しい体育論の意義と課題

卒業論文

青　木　礼　奈：幼児のナラティブ
——幼児は出来事をどのように語るか——
淺　場　優　子：自閉症児をもつ母親の心的発達
——母親のライフストーリーから——
太　田　喜美子：心理的虐待、それに準じる「不適切な養育」を受けたと考えられる人間の存在明示可能性に関する一考察
大　槻　　綾　：幼児期における自己理解
——母親の在・不在による自己描写の変化——
緒　方　美　穂：理科教育における素朴概念の検討
奥　村　好　美：有田和正の授業観の確立
——追究像を中心に——
小　黒　迪　明：「師範大学」の可能性
——春山作樹と長谷川乙彦の論争を手がかりに——
梶　　喬　一：操行査定の研究
門　脇　寛　至：現代大学生における遺伝観・環境観についての調査研究
蒲　池　理　恵：きょうだい間の棲み分けに関する心理学的研究
小　橋　理　恵：青年期の回顧されたchumshipの発達的意義
——自我同一性との関連から——
小　林　俊　和：日本におけるアントレプレナーシップ教育の現状と課題
袖　岡　亜　季：印象に残る言葉・好きな言葉と自己の物語との関わり
西　山　直　子：祖母－母－娘三代の関係性
——イメージ画とインタビューをもとに——
細　尾　萌　子：昭和2年改正旧制中学校入学者選抜方法の理念と実態
——栃木県旧制中学校入学考査を事例として——
前　田　圭　子：長田新と『原爆の子』
山　田　　浩　：日本の英語教育におけるインプット理論の導入
——斉藤栄二の理論と実践に着目して——
若　井　貴　裕：庄司和晃のコトワザ論とその背景